

熊谷高校 ≪活性化・特色化方針（スクール・ポリシー）≫

課程	全日制	学科	普通科		R4.5.1 生徒数	(男)956 人	計956人		
アクセス	JR高崎線熊谷駅(北口)より徒歩25分 または バス「円光」下車徒歩4分								
＜目指す学校像＞									
進学校として、伝統を重んじ、活気に満ちた特色ある教育をとおして、これからの日本と世界に貢献できる人材を育成する。									
＜教育課程等＞ ※ 1									
<ul style="list-style-type: none"> ・進学型単位制を導入し、生徒一人一人に最適な授業を履修できる。 ・すべての教科をバランスよく学習し、将来の日本を支えるたくましい人材としての土台を築く。 ・1, 2年次では英国数が充実し、基礎基本の徹底をはかる。 ・3年次では幅広い科目選択で、大学受験に必要な科目が充実。 ・少人数授業が多く展開され、きめ細やかな学習指導が受けられる。 ・土曜日授業を隔週で実施・総合的な探究の時間に課題探究型の「熊高ゼミ」を実施 									
＜本校が求める生徒＞ ※ 2									
<ul style="list-style-type: none"> ・たくましさ豊かな人間性を有し、地域、日本と世界に貢献できる人材となれる生徒 ・高い志をもち、自ら考え判断し、責任をもって主体的かつ協働的に行動できる生徒 ・深い教養と豊かな感性を基盤に、未知なるものに挑戦し、新しい価値を創造できる生徒 									
＜学校行事＞									
<ul style="list-style-type: none"> ・40キロハイク ・臨海学校 ・文化祭 ・体育祭 ・つくばサイエンスツアー ・班別行動中心の修学旅行 ・各種スポーツ大会（バレーボール、テニス・卓球、サッカー、ラグビー、柔道、バスケットボール、水泳） ・多彩な連携による講演会（医学系・薬学系・理学系・先端技術・データサイエンス等） 									
＜部活動＞									
最近の実績									
○全国大会出場 陸上競技部、ソフトテニス部、スキー部、水泳部									
○関東大会出場 剣道部、音楽部（銀賞獲得）、軟式野球部（春・秋）、陸上競技部（春・秋）、ソフトテニス部、水泳部、スキー部、山岳部									
＜家庭・地域との連携＞									
<ul style="list-style-type: none"> ・生き生き仕事人（キャリア教育）を実施（1年生全員） ・地元小・中学校への学習ボランティア（夏季休業中） ・地元小・中学校との部活動交流（陸上競技部、音楽部、吹奏楽部、水泳部、応援団等） 									
進 路	R4.3 卒業生	四大	240人	短大	0人	専門	1人	就職	1人
	傾向	<ul style="list-style-type: none"> ・国公立大学合格者14年連続100名以上（浪人生含む）。 ・現役国公立大学合格者過去最多、現役進学者は75% ・国公立大医学部現役2名合格、私立大医学部現役1名、 ・早慶上智、理科大、GMARCH等多数合格 							

【学校教育法施行規則第103条の2】高等学校における三つの方針
裏面 育成を目指す資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー）
※1 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）
※2 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）



校訓：「質実剛健」「文武両道」「自由と自治」

1年次「文武両道を確立」 —仲間と切磋琢磨し、熊高生の自覚を育む1年—

○「文武両道」の学習習慣を確立する — 充実の初期指導 —

- ・学習ガイダンスで家庭学習と授業の受け方を学ぶ。
- ・学習と部活動の時間を確保し、充実した高校生活がスタートする。

○熊高生になる

- ・新潟柏崎市での臨海学校で自然を学び友と向き合う。
- ・各界の第一線で活躍する卒業生から仕事と生き方を学ぶ。



【臨海学校】

連帯感を持つ

クラスや部活動で、互いを認め、信頼し合える仲間ができる。

2年次「自由と自治を具現化」 —主体的に挑戦し、リーダーシップを育む1年—

○総合的な探究の時間「熊高ゼミ」で探究心を育む —自ら調べ自ら考える—

- ・自ら問いを立て、未知なるものに挑戦し、課題解決する。
- ・発表会におけるプレゼンテーションを通して、発信力と表現力を養う。

○修学旅行で「自由と自治」を実践する

- ・4泊5日の旅行を自分たちで計画し、班別行動で自分を鍛える。
- ・日本の歴史や文化を肌で感じ、豊かな教養と感性を育む。



【修学旅行】

IからWeへ

主体性を持ち先輩を助け、後輩を導き、熊高を支える生徒集団ができる。

3年次「質実剛健の高揚」 —熊高生活を完結し、未来を拓く人間力を育む1年—

○熊高生活を完結 — 最高の仲間とともに —

- ・仲間とともに、学業・部活動・学校行事に全力投球する姿を行動で示す。
- ・熊高の伝統を重んじ、「質実剛健」を体現して、豊かな人間性を育む。



【体育祭】

○高い志をもって、未来を拓く — 人間的成長とともに —

- ・自ら志を立て、自分が進むべき道を切り拓く。
- ・最後まであきらめない雰囲気の中、仲間との切磋琢磨をとおして大きく羽ばたく。

一生の友と

仲間との絆に支えられ、最後までやり抜く生徒集団ができる。

熊高生を支える学びの場 ・ 熊高生を育てる学校行事

- 進学型単位制：少人数授業を取り入れた、質の高い授業。 —授業で勝負—
- 恵まれた学習環境：大学の雰囲気をもつ図書館を、平日の夜8時30分まで開放。
- 充実の探究活動：好きなことを追究する中で、自ら学び自ら考えることの面白さと喜びを知る。
- 教養セミナー：各界の最前線で活躍する方々・卒業生から高いレベルの知的刺激を受ける。
- 感動の学校行事：40キロハイク（熊谷から上長瀬まで完歩・完走）、臨海学校、修学旅行
- 連帯感を高めるスポーツ大会：水泳、バレー、ラグビー、柔道、バスケ、テニス・卓球、サッカー